



2019. 8. 21 ひなご幼稚園園長 神戸洋美

話題の美術展

8月1日から始まった3年ごとに開催される「あいちトリエンナーレ2019」。文化芸術の発展、日常生活への浸透、地域の魅力を向上するという目的で開催されており、キッズ向けの楽しい企画もあります。多くの来場者を期待していたはずが、違う注目度で大きな話題となり、大変な展開となってしまいました。現在も問題は継続中です。

皆様もご存じのように、開始早々、展示内容をめぐって全国ニュースになり、開幕以降、会場や県庁への脅迫・テロ予告にとどまらず、県内の学校などにもガソリンをまく、とのメールが届き、不特定多数に危険が及ぶ事態となってしまったのです。特に8月8日・9日の2日間、市役所や学校施設に危害を加えるというメールが送られ、急きょ預かり保育を中止・総体などで対応しました。保護者の皆様には急なご連絡で、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

私は公職者としての立場から8月6日～9日まで開催された県政調査会の場において、この異常事態をなんとかしてほしいと要望しました。大村知事に対して議員団から4点の申し入れを行ったのです。

- ①県民の安全確保と十分な説明（県民の安全確保、事態の早期収拾、今回の騒動に至った経緯の説明）
- ②津田芸術監督の選任について（ヘイト「憎悪」を増幅するような企画を進めた監督の選任のプロセス）
- ③美術館ギャラリーの使用許可について（美術館が定める利用者の手引きに対する今回の企画の整合性）
- ④公費支出のあり方について（公金を使った芸術作品の展示のあり方、芸術活動への公金支援のあり方）

特に警察機関に対して、県民の安全の確保を強く要望しました。園としましても万が一の事を考え、対応してまいりますのでご理解をお願い申し上げます。



夏休みの宿題

幼稚園は夏休みの宿題はありませんが、小学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんがみえるご家庭は、今頃大変？と想像します。自分も小学生の頃、親になって我が子を持った時、夏休みの後半は地獄のような毎日でした。宿題を早く済ませて後半ゆっくり遊びたい（遊ばせたい）、ついに願いはかないませんでした。

さて、この夏休みは自分自身に宿題（課題）がありました。それは家の中の大掃除です。普通なら年末に行わなければいけないのですが、昨年末から今年の4月まで私事で公的に大忙しだったので、書類の山もホコリの山も横目で見ながら、「夏休みになったら絶対片付けよう！」とずっと思っていました。夏休みと言っても結構忙しく、やっと10日からのお盆休みに時間を見つけて、台所・階段の下の棚・自分の仕事場所等、自分が動く範囲の所の大掃除にかかりました。

特に台所は所せましと物があふれていて、傷んだ野菜やしまい込んだ期限切れの食料品、この先使いそうにない雑貨類等、思い切って「断捨離」です。棚から要らないものを出して、そこへ物を収納すると、床面積が広がってスッキリ。なんとという充実感！この歳にしてやっと味わえた「夏休みの宿題早く終わらせた」の達成感！そしてお盆明けに気持ちよく仕事に復帰した私であります。早く済ませるって大事。

今月のヒント！ 「アンミカ流ポジティブ脳の作り方」から。

「苦手な人ほどいいところ探し」

人には色々な側面があり、あなたからは苦手でも別の側面から見るといいところが……。人のいい所見つけはポジティブ脳を育みます。

